

●俳句サロン

俳句サロン 令和七年

「春」



木の芽ふく坂の先には城址あり
春愁や一錠ふえし飲み薬

雅俊 晴代 雅俊

「夏」



紫陽花に傘をさしかけ見る幼児

ひとつばたご
バス運しなんじやもんじやの花の下

晴代 晴代 雅俊

手の中に草の香残し螢舞ふ
國宝展慈愛の笑みや古都薄暑

晴代 雅俊